

<b>Title</b>	福祉の役割福祉のこころ実施結果：アンケート集計結果の概要(総合研究所 News：2011 年度「福祉のこころ」研究講演会)
<b>Author(s)</b>	聖学院大学総合研究所
<b>Citation</b>	聖学院大学総合研究所 Newsletter, Vol.21-No.4, 2012.2：22-25
<b>URL</b>	<a href="http://serve.seigakuin-univ.ac.jp/reps/modules/xoonips/detail.php?item_id=3693">http://serve.seigakuin-univ.ac.jp/reps/modules/xoonips/detail.php?item_id=3693</a>
<b>Rights</b>	



聖学院学術情報発信システム：SERVE

SEigakuin Repository and academic archiVE

2011年度「福祉のこころ」研究 講演会  
福祉の役わり 福祉のこころ  
実施結果—アンケート集計結果の概要—

大正大学大学院人間学研究科・石川到覚（とうがく）教授をご紹介します。先生は1972年（昭和47年）4月から1年間、国立精神衛生研究所の非常勤研究員として、わが国初期の精神科デイケアの実践研究に従事されました。これが先生と私の出会いで、一緒に集団力学（グループダイナミックス）の実際を学びました。小集団の話し合いを通して、利用者である精神障害者が「語り」の力を発揮することができることを目の当たりにしました。

一方、先生は僧侶として横浜市在の寺院を守り、信徒に接し、人の生死にかかわってこられました。また、寺院に敷設した地域作業所で、精神障害者とのかわりによって、その潜在的可能性を確信し、その証人として生きてこられた方でもあります。

思索の秋（とき）、先導者としてのお話に、よき一時を過ごしたいと思います。（文責 柏木昭）

日 時 2011年12月3日（土）14時00分～16時15分  
場 所 聖学院大学ヴェリタス館教授会室  
後 援 埼玉県社会福祉協議会

【プログラム】

挨拶 阿久戸 光晴（聖学院大学理事長、学

長)

講演 「宗教と福祉—仏教福祉の立場から—」

石川到覚 (大正大学大学院人間学研究科  
教授)

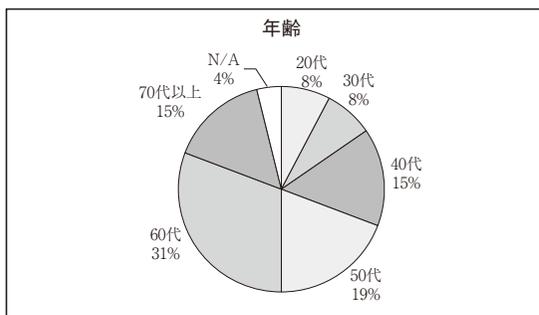
質疑応答 (対談形式)

石川到覚 (前掲)

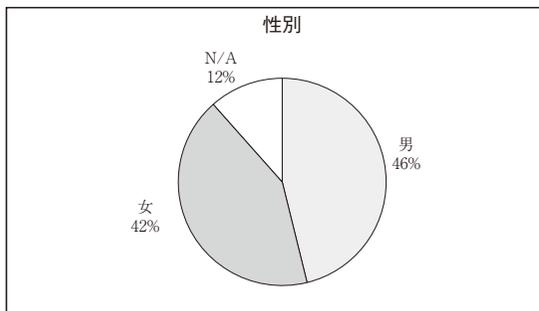
柏木 昭 (聖学院大学総合研究所名誉教  
授)

### 【結果の概要】

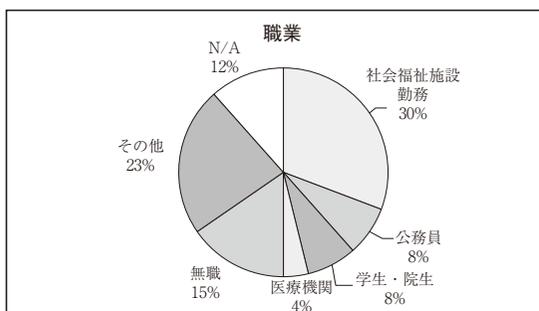
参加者の人数は49名。内アンケート回答者は26名。



\* 年齢層は60代が最も多かったが、幅広い年代にわたっての参加があった。

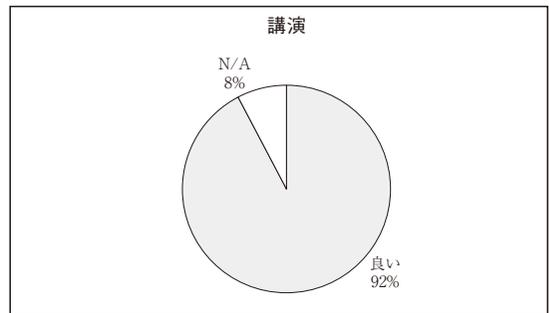


\* 性別は男性と女性がほぼ半々であった。

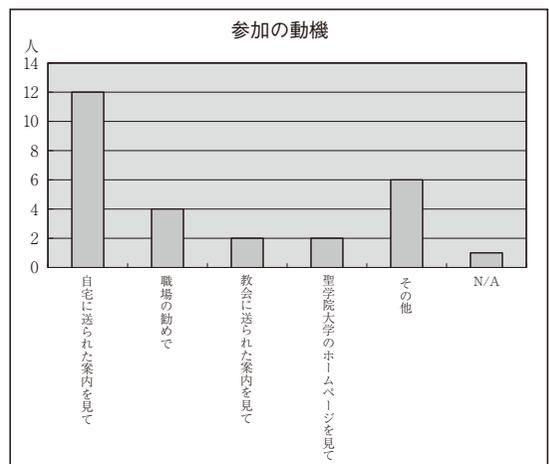


\* その他としては、福祉事業関連コンサルタン

ト、販売業、牧師、大学非常勤講師など。



\* 無回答のものを除くと、良いという評価であった。



\* その他としては、柏木先生の誘いで (2名)、先生に勧められて (2名)、大学祭で先生から紹介されて、前の講演会で知って、校内のチラシで。

### 自由意見

・私自身が病気で実家に戻っており、そこで祖母の介護の手伝いをしている毎日です。そこで施設の方と家族とは関係が取れていますが、近所の方々と福祉サービスはまだまだ連携が取れておらず、福祉サービスを活用している我が家に相談が度々きます。高齢化率25%を越す市ですので、近所には65歳以上の方ばかり住んでいます。この帰省で、社会福祉の道へ再度復帰しようという決心にもつながりました。今後もこのような宗教にとらわれない講演のお知らせがあれば知りたいと思いました。

・セルフヘルプグループや利用者さんたちとの

ようなかわり、実践をしてきたのかをもっと聴きたかったのですが、仏教とキリスト教における福祉・援助観の違い、共通項がわかってよかったです。日本のソーシャルワークを紡ぎ出す試みをイギリスのソーシャルワーク研究から抽出されていて、大変示唆に富んでいると思いました。

- ・特に颯田本眞（さつたほんしん）尼のお話は興味深くお聞きしました。もっと広く知る機会があれば、日本のボランティア活動もより拡大されるのではないかと思います。
- ・とても興味深くお話をうかがいました。ありがとうございました。やはり広いテーマだったからですね。もっと時間があればと残念に思いました。

仏教とキリスト教それぞれが教える（考える）福祉思想と役わりについて、もう少しテーマを細かくして講演いただけたら、もっと理解できたかもしれません。

しかし「仏教からの福祉」の講演は関東では数少ないので学ぶことができました。

- ・無料にもかかわらず良いお話をうかがえました。社会福祉は宗教に基づく実践行動が原点（歴史的には…）。ただ私見ですが、仏教は厳密には宗教ではなく、内観に基づく哲学に近いかと…（少なくとも原始仏教は）。いかなる宗教でも人間愛（慈悲）に基づく実践につながればよろしいかと思います。→他教に寛容 何かと分派するのが宗教だが、（特に仏教）折あるごとに原点（基本）に戻りたい。宗教は不勉強ですが、キリストもブッダも元は唯一（一人）



講師の石川到寛 大正大学大学院教授



仏教思想の人間観や仏教福祉実践における理念を基に日本のソーシャルワークおよび仏教ソーシャルワーク構築を試みるという講演であった。

だったはず。ありがとうございました。

- ・聖学院大学で授業させていただいて4年目になります。私の好きなことばは「ここは神に、手はひとに」です。その神というのはキリストであったり、仏教であったり、イスラム教であったり…。
- ・授業は「福祉」なので、今日のお話は今後の授業にとってもいかされると感じました。また、ターミナルケアを東京YWCAで15コマさせていただいておりますので、今日の先生のお話は、とても心に沁み込み、機会があれば学生にも伝えていきたいと思いました。ありがとうございました。
- ・ご講演の最後の方の「仏教ソーシャルワークの構造化の試み」をもっと具体的に、時間を取って話が聞きたかった。または仏教的ソーシャルワークをもっと知りたかった。
- ・興味深い示唆に富んだ講演でした。社会的弱者をケアするひとりとして、大切にしたいと感じました。
- ・福祉理解・概念がきちんと確立している中に、仏教の思想を重ねて話して下さったのがわかりやすく、おもしろかったです。ありがとうございました。
- ・普段なじみのない仏教の用語、教えが少しだけ理解できたと思いました。倫理観や行動の基礎となる考え方の重要性を改めて認識しました。
- ・仏教のことはあまり分からないが、日本人の底に流れているものかと思う。しかし、もっと仏

教の考えも知る必要があると思います。

- ・基本的仏教の言葉を聞き、解説してくださりよかったです。
- ・今までの学びは、福祉の成り立ちから、キリスト教の流れが色濃いと感じていたが、今後は仏教を含めた日本的な立場からも考える必要を感じた。
- ・仏教としての立場からの福祉の見方と、キリスト教の福祉の見方の比較がおもしろかったです。
- ・福祉のこころとして仏教（キリスト教）がベースになると、ボランティアをするにも大変役立つと思います。
- ・平日はどうしても時間が取れず、来たくても来れません。土・日曜日に講演会を行ってくれると嬉しいです。  
キリスト教以外の仏教の教えの講演会も機会があればぜひこれからも聞きたいと思います。
- ・ソーシャルワーカーとして、先生のお話は大変参考になりました。ありがとうございました。
- ・対談、素敵です。質問のキャッチボールで理解が深まった感じ。ほっとしました。セルフヘルプの考え方。女性の成長→母の成長→子の成長の話。ありがとうございました。
- ・大変勉強になりました。これからもっと聞きたいというところで終わってしまった感は残念に思いました。ありがとうございました。
- ・大変参考になり、ありがとうございました。



対談形式で質疑応答が行われた。